

日本小児科学会主催

小児救急市民公開フォーラム in 福岡 開催報告

開催日時：2024 年 5 月 19 日(日) 14:00～16:10

開催方法：Web 開催

対象者：子ども、保護者と子どもに携わる方（保護者、教諭、子育て支援員・保健師等、保育士）など

参加費：無料

参加者数：633 名（事前申し込み数：1,017 名）

事後アンケート回答者：556 名（回答率：87.8%）

【プログラム】

開会の挨拶：濱崎 考史（日本小児科学会小児救急・集中治療委員会担当理事）

第Ⅰ部 司会：楠原 浩一（福岡市立こども病院院長）

講演 1：けがの予防：神薗 淳司（聖ルチア病院精神科）

講演 2：嘔吐、下痢：福政 宏司（北九州市立八幡病院小児科）

講演 3：発熱、咳、鼻水：大平 智子（宮崎県立宮崎病院小児科）

第Ⅱ部 司会：鉄原 健一（福岡市立こども病院集中治療科）

講演 4：受診のときの病歴の話し方のコツ：加納 恭子（熊本赤十字病院小児科）

講演 5：一般のひとが知らない救急の話：高尾 稔（福岡市消防局）

講演 6：第一印象のみかた：東加 奈子（九州大学病院小児救命救急センター）

講演 7：けいれん：石橋 信弘（長崎医療センター小児科）

閉会の挨拶：濱崎 考史（日本小児科学会小児救急・集中治療委員会担当理事）

開催報告・企画担当者：鉄原 健一
日本小児科学会小児救急・集中治療委員会報告

本フォーラムは、小児救急・集中治療委員会主催で年に 2 回開催している。今回の企画は九州地方が担当した。今回は対面形式ではなく Web 形式で行った。参加者の年代は中学生 0.4%、高校生 0%、20 代 11%、30 代 31%、40 代 32%、50 歳以上 26%であり、受講対象に子どもを含んでいたが中高生の参加は少なかった。医療・教育の仕事をしている受講者が 86%、そのうち、看護師 50%、保育士 16%、医師 10%、学校教諭 6%、保健師 5%、幼稚園教諭 1%であった。受講者の居住地は福岡県 33%、関東 22%、近畿 14%、福岡県以外の九州・沖縄 9%、中部 8%、北海道・東北 7%、中国・四国 6%と九州を中心に全国から参加いただいた。海外からの参加も 2 名あった。Web 開催は全国から参加できること、子育てをしながら参加ができることから、多くの一般の方への啓発に有用である。顔の見える関係づくりができる現地開催とともに Web 開催の継続が望ましい。